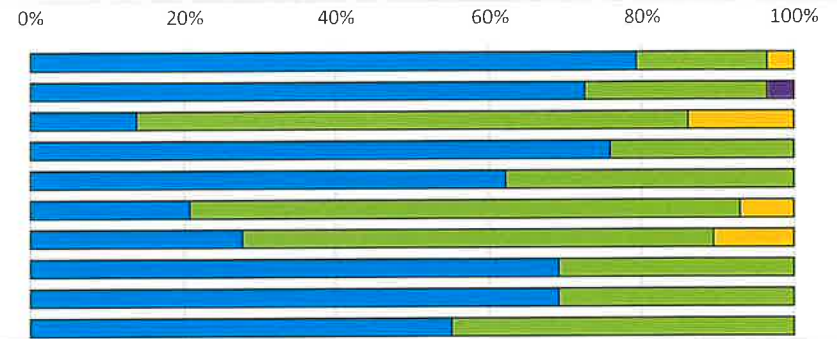


令和5年度 運営評価と自己評価集計結果

【評価基準：A= ■ 十分できている B= ■ ほぼできている C= ■ あまりできていない D= ■ できていない 未= ■ 未回答】

◆運営評価（園の運営を評価してください。）

項目	内容
教育目標	園は教育理念や重点目標等を職員に明確に示している。
教育・保育計画	園は幼児の生活が豊かになるような教育・保育の計画を立てている。
教育環境	園は幼児の生活や遊びの場としての適切な環境を整えている。
研修・研究	園は職員の資質向上のための研修や研究の機会を設けている。
子育て支援	園は保護者や未就園児など地域の子育て支援センターとしての役割を果たしている。
安全管理	園は幼児が安心して安全な生活を送るための体制や施設設備を整えている。
保健・衛生	園は幼児が健康で衛生的な生活を送ることができる体制や施設設備を整えている。
職員体制	園は教育理念や方針、個々の幼児について共通理解するための取り組みを行っている。
労務管理	園は職員が働きやすい職場になるように努めている。
情報公開	園は保護者や地域に対して積極的に情報提供を行っている。



◆自己評価（自分の職務について評価をしてください。）

項目	内容
保育計画	教育理念 園の教育理念や重点目標を理解し、園の教育方針に共感している。
	教育要領 教育・保育要領を理解し、それに沿った具体的な幼児の姿が想起できる。
	指導計画 全体的な計画に基づき、幼児の実態を踏まえながら作成している。
	環境構成 指導計画に基づき、幼児が主体的に関わりたくなるような環境を整えている。
幼児対応	評価と反省 保育の記録を残し、PDCAサイクルの中で次の保育に活かしている。
	安全管理 危険を予測しながら施設設備の環境や幼児の行動を観察し、事故発生の際にはマニュアルに従い適切な処置を行っている。
	健康管理 幼児の健康状態を把握し、常に幼児の体調に気を配っている。
	幼児理解 個々の幼児の発達の姿や課題を見通しをもって捉えている。
資質・能力	幼児指導 応答的な対話に心がけ、幼児の気持ちに共感や受容をしながら、幼児と共に過ごしている。
	協力と連携 共同体志向により、全園児の担任という気持ちで学年を超えた連携をしている。
	虐待等の対応 子どもに身体的、精神的苦痛を与えず、子どもの背景にある事柄にも気を配っている。
	専門性 保育教諭としてより高度な専門知識や技能を身に付けようと努めている。
保護者対応	やりがい 幼児と共に楽しく生活を送り、その発達や成長に喜びを感じている。
	良識 職場にプライベートや感情を持ち込まず、幼児や保護者、同僚への対応に公平性を欠かさない。
	義務 適正な現金管理、重要書類の持ち出し禁止、提出日の厳守等の義務を履行している。
	組織 私生活は一線を画し、協力・協働・共育しながら同僚性の醸成に努めている。
園内	発信と受信 保護者に必要な情報は発信・共有し、保護者の話を心を開いて聞いている。
	協力や支援 訴えや要望、意見に安易な回答をしたり、上司への相談なく協力の要請等を行っていない。
	守秘義務 職務上知り得た幼児や保護者、同僚の個人情報や口外していない。
	マナー 園のすべての保護者に親しみを込めた挨拶や丁寧な言葉での会話を心がけている。
研修	クレーム対応 クレームがあった場合には、謙虚に話を聞き、マニュアルに沿って対応している。
	自然 打吹山の動植物の名前を知り、季節による変化などを理解して保育に活かしている。
	地域 地域の主な施設や行事についてある程度理解し、保育に活かしている。
	小学校 小学校の教育内容に関心を持ち、幼小連携の意義や在り方についても考えている。
研究	意欲・態度 自らの保育の在り方について考え、目標をもって職務に取り組んでいる。
	専門性 自らの得意分野の確立や自分に割り当てられた職務について研修・研究をしている。
	遊具・教材 園の遊具や教材について研究し、様々な工夫や活用方法を考えている。
	環境 園内の環境を教育的意味や動線などの観点から考え、必要に応じて模様替等をしている。
研究	今日的課題 アレルギーや自立の遅れ、障がいのある幼児への保育の在り方について学習している。
	資質向上 自らの資質向上のために専門書を読んだり、情報収集に努めている。

